



建設産業界の職域代表として国政で活躍する足立敏之参院議員を励ます会が19日、東京都千代田区のホテルグランドパレスで開かれた。会場に詰め掛けた支援者ら約850人を前に足立議員は、3年前の初当選時に掲げた「建設産業再生」と、2018年の励ます会で打ち出した「インフラ再生」の2つのスローガンの下、議員活動を展開するとの決意を改めて示

建設産業とインフラ再生 決意新た 足立議員を励ます会

し、「日本がどういう方向でやっているのではないか。大変脆弱ていかなくはないかをしつかり考え、発信していく」と力を込めた。写真。

足立議員は、建設産業再生に向けて重要な量と質の確保について、「量の確保は防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策や補正予算という形で貢献できたのではないか。質の確保は、建設業が仕事をすれば利益が出る環境をつくるのが大切で、公共工品質確保促進法の改正も行い、少しはお役に立てたのでは」と、3年間の議員活動を振り返った。今後については激甚化する自然災害に触れ、「この20年ぐらい投

も「高速道路や港湾、空港はアジアの国にも負けていると感じることがある。日本のインフラを海外と比べても恥ずかしくないようにしたい」と述べ、インフラ再生に力を入れていく姿勢を鮮明にした。建設業界を代表してあいさつした山内隆司日本建設業連合会会長は「短期、中期、長期の視点から国士強靱化を推進する大規模な公共事業予算の確保が待たれる。引き続き、豊富な知識と経験に基づき卓越した手腕を発揮してほしい」と期待を寄せた。